

町営バス路線が繋ぐ体験・交流型拠点施設ネットワーク事業（神川町）

【目的】 町営バス路線を活用『周遊』して、地域住民と観光客が共に利用し楽しめる観光振興を推進し、バス路線の維持と観光客の増大を目指す。

【概要】 町営バス利用観光客の増加を図るため、町営バスの利便性や魅力を満載したPR動画を作成し、SNSや大手検索サイトで拡散するとともに、町営バス路線上の3カ所の体験・交流型観光拠点施設にてスタンプラリーを実施する。また、道のオアシス神泉にある観光案内所の機能をAIを取り入れた情報通信技術（ICT）を活用して、発展拡充する。R5年度整備済の多目的交流施設とR7～8年度別事業で予定している城峯公園キャンプサイトの整備と併せて、ネットワーク化を図っていく。

基準（チェックを入れてください）

- ☒ ①先駆的な取組
- ☒ ②他の市町村の参考となる取組
- ☐ ③他の市町村と広域連携で行う取組
- ☐ ④官民連携で行う取組

1 道のオアシス神泉整備（522万円）※基準①

観光案内所機能強化
・タッチ型デジタルサイネージの整備
・AIチャットボットの導入



城峯公園キャンプサイト整備（別事業）

安全と快適さの両立
・有害鳥獣（AIカメラによる鳥獣判別）対策（R8年度）
・エアコン整備（R7年度）

2 町営バスPR事業（70万円）※基準①②

町営バスの利用客促進
・観光と路線情報の連携したPR動画の作成
→SNSや大手検索サイトで拡散



3 町営バス路線で巡るスタンプラリー（10万円）※基準①

町営バスの利用客促進
・3カ所のバス停留所周辺施設にてスタンプラリーを実施

多目的交流施設（R5年度整備済）

地域住民と観光客の交流促進
・交流スペース、スマートロック、Wi-Fi等
・コワーキングブース、フィットネスルーム



要望額：400万円（総事業費：602万円） 補助率：2/3